

## B. 主要な施策の成果

## (1) 総務費

事業名		地域防犯推進事業		予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成 20 年度	事業進捗率	40 %		項	01	総務管理費
担当部署	総務 部	総務 課			目	01	一般管理費
事業費			4,095,473 円	事業の目的・目標	自治会が行う防犯灯新設・移設・撤去に係る事業費に対しては費用の1/2を補助する。本事業により自治会の防犯灯新設を促し、安心安全のまちづくりを推進する。また、電気料金負担が大きい自治会の防犯灯をLED化し、自治会の負担を軽減する。		
財源内訳	国庫支出金		1,048,913 円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		3,046,560 円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

##### ●防犯灯設置費補助金（新設・移設・撤去-1/2補助 補助限度額30,000円）

内容 自治会が行う防犯灯新設に係る事業費に対し半額を補助する。社会資本整備総合交付金を事業費の60%に充て、残り40%を市の一般財源で賄う。

実績 事業費 929,310円

事業量 新設 28基 移設 11基 撤去 4基

効果 新設に係る経費を1/2補助することにより、今まで設置が困難であった箇所や犯罪の起きやすい箇所に設置することができ、安全安心のまちづくりを進めることができた。

##### ●LED防犯灯普及事業

内容 消費電力が少なく電気料金の節減効果のあるLED防犯灯をさらに普及させるため蛍光防犯灯の故障修繕に合わせてLED防犯灯への取り換えを行った。

実績 事業費 672,260円

事業量 25灯

効果 H25年度から、電気料金が全額自治会負担となったが、LED化することにより電気料金を約43%節減できる。これにより、自治会の負担を軽減することができた。

##### ●防犯灯球替手数料他 2,493,903円

事業名	企画費（江津市再生可能エネルギー促進事業 他）			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成 25 年度	事業進捗率	100.0 %		項	01	総務管理費
担当部署	総務 部	政策企画 課			目	08	企画費
事業費						1,127,830 円	事業の目的・目標 江津市内において再生可能エネルギーの導入を促進するため、再生可能エネルギーを利用した発電や、熱供給事業を計画する事業者に対し、補助金を交付することにより、再生可能エネルギーの導入促進に寄与する事を目的とする。
財源内訳	国庫支出金					円	
	県支出金					円	
	地方債					円	
	その他					90,300 円	
	一般財源					1,037,530 円	

### 施策の内容、実績、及び効果

「江津市再生可能エネルギー促進事業」

#### ○事業の内容及び実績

- 補助対象者
  - ・ 島根県の事業である「島根県再生可能エネルギー事業化促進事業」の補助金交付決定を受け、かつ発電事業の候補地を江津市内とする者
- 申請者
  - ・ 有福振興株式会社
- 補助額（補助対象経費の1/4以内【上限 500,000円】、県費1/2以内【上限 5,000,000円】）
  - ・ 総事業費 2,000,000円（市 500,000円、県 1,000,000円、事業者負担 500,000円）
- 事業内容
  - 「有福温泉町における地熱資源有望地点精密調査」
  - ・ 発電事業実施のための生産井掘削（温泉発電用の新しい井戸）に向け、意思決定を行うための根拠資料とする。
  - ・ 有福温泉町内の2地区（温泉町南部地区、堂庭地区）において調査を実施。
  - ・ 既存資料の解析、地表地質踏査、水質分析などにより調査
- 事業成果
  - ・ 調査の結果、2地区ともに地熱資源有望地点として可能性があることが確認された。

#### ○事業の効果

- 補助事業者と地元住民が一体となって地熱開発を進めていくための環境づくりや、地域資源を将来的に有効活用できるための取り組みへの一助となった。

事業名	国際交流員招致事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成 14 年度	事業進捗率	%		項	01	総務管理費
担当部署	総務 部	政策企画 課			目	08	企画費
事業費					5,080,761 円		
財源内訳	国庫支出金		0 円				
	県支出金		0 円				
	地方債		0 円				
	その他		259,367 円				
	一般財源		4,821,394 円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容、実績、及び効果

中国からの国際交流員を活用し、市民を対象に異文化理解や国際理解の促進を図っている。  
平成22年4月に着任した夏国際交流員も4年目の活動を終えた。着任以来継続している出前講座では、「中国語」、「中国事情」、「中華料理」の3講座を担当し、異文化理解に努めている。  
出前講座のほかには、広報かわらばんと市のホームページに定期的に寄稿し、市民に情報発信を行った。日本での経験や日々の出来事を交流員ならではの視点から掲載し、多くの市民に対し、中国人や中国文化の理解を深めることができた。  
また、市内在住の中国人、中国残留邦人、中国系日本人の来庁時や通院時などの通訳も行っている。そのほか、市内企業で研修を行う中国人に対しての研修通訳も担当しており、通訳・翻訳者としての活動が増えている。

#### ●出前講座

- ・中国語入門講座…挨拶や自己紹介などの初級者向け講座。(1回)
- ・中国語講座…初級～中級者向け講座。(33回)
- ・中国事情講座…中国の伝統文化、現状などについての紹介。(7回)
- ・中華料理教室…中国の食文化の紹介や中華料理の実践。(6回)

#### ●小学校訪問…学校からの依頼に応じて、授業等を実施。(8回)

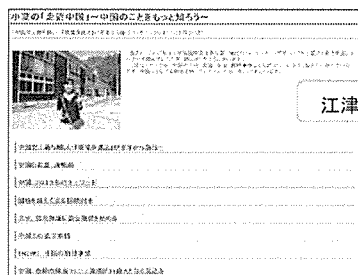
#### ●執筆

- ・広報かわらばん…日本で体験した事柄を中国人の視点で紹介(12回)  
「小夏の日本イロハ感想記」
- ・江津市ホームページ…中国の現状や最新情報などを紹介(6回)

#### ●翻訳…行政関係文書等の翻訳(17回)

#### ●在住中国人サポート…生活相談、通院通訳など(133回)

区分	決算額(円)
報酬 他	4,404,332
旅費	30,140
事務費 他	646,289
合計	5,080,761



江津市ホームページで情報発信



かわらばんには毎月寄

事業名	地域コミュニティ活性化事業			予算科目	会計	1	一般会計
					款	2	総務費
事業開始年度	平成 19 年度	事業進捗率	%		項	1	総務管理費
担当部署	総務 部	政策企画	課		目	8	企画費
事業費				事業の目的・目標	過疎化や少子高齢化により地域活動の衰退が進行し、集落の維持が困難な状況となっていることから、地域住民が主体性を持って「自らが考え、行動する」自主的なまちづくり活動を支援し、住民と行政との協働による地域づくりを推進する。		
財源内訳	国庫支出金		12,104,376 円				
	県支出金		円				
	地方債	100%	8,100,000 円				
	その他		4,000,000 円				
	一般財源		4,376 円				

施策の内容、実績、及び効果

○地域コミュニティづくり事業（平成19年度～）

●施策の内容

「自らが考え、行動する、自立した地域づくり」を实践できる自治会や公民館、各種団体が連携した新たな自治組織（地域コミュニティ）づくりを推進する。

●実績

交付団体名（地区名）	交付金額	備 考
都治地区コミュニティ協議会	200,000円	先進地視察、広報活動 等
有福温泉コミュニティ準備委員会	250,000円	地域内意識調査、課題抽出 等
波子ビジョンプロジェクト	100,000円	地域内意識調査、地域の問題点把握 等
敬川コミュニティ準備委員会	129,989円	課題抽出ワークショップ 等
嘉久志まちづくり協議会設立準備会	250,000円	地域内意識調査、先進地視察 等
川越地域コミュニティ設立準備会	125,895円	先進地視察
二宮町まちづくり協議会	50,000円	地域内意識調査
渡津地域コミュニティ設立準備会	74,509円	地域内広報活動
事務費等	19,610円	
計	1,200,003円	

●効果

地域コミュニティの組織化に向けて、先進地視察や地域内での広報活動などを行った。その結果、「都治地区」「有福温泉地区」「敬川地区」「嘉久志地区」においてコミュニティ組織が設立された。

○地域コミュニティ実践事業（平成21年度～）

●施策の内容

地域で組織された新たな自治組織（地域コミュニティ）が、自ら考え取り組む「まちづくり計画」を实践するための支援を行う。（平成25年度より有福温泉地区、松平地区が実践事業へ移行。）

●実績

交付団体名	交付金額	備 考
浅利町 まちづくり協議会	863,000円	基本項目： 781,000円（組織運営費） 選択項目： 82,000円（浅利公園管理） 独自事業： 0円
黒松自治区 推進協議会	2,237,252円	基本項目： 568,000円（組織運営費） 選択項目： 40,000円（黒松停留園除草） 独自事業： 1,629,252円（海産物加工、防災対策 等）
跡市地区 まちづくり協議会	907,436円	基本項目： 709,989円（組織運営費） 独自事業： 197,447円（歴史文化研究・防災対策 等）
松平 たすけ愛協議会	2,300,000円	独自事業： 2,300,000円 （農産品加工、地域内外交流 等）
有福温泉町 まちづくり協議会	550,000円	独自事業： 550,000円 （地域ブランド化、夜景装飾 等）
都治地区コミュニティ 協議会	4,000,000円	一家一花でつなぐ梅の降る里づくり事業 （梅苗木の植栽、伝統芸能の伝承 等）
事務費	46,685円	
計	10,904,373円	

●効果

防災対策として、組織体制の検討や避難経路を確認する取り組み、地域の魅力を再確認し、次世代へ継承していくための活動を実施するなど、地域独自の活動が実施されており、当交付金により地域コミュニティ組織の自主的な活動が推進された。

事業名	桜江ピクニックラン事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成 8 年度	事業進捗率	%		項	01	総務管理費
担当部署	桜江支所	部	課		目	08	企画費
事業費				事業の目的・目標	国内最大級の水のミュージアム「水の国」と大型温泉リゾート施設「風の国」、並びに江津市の豊かな自然をアピールし、地域の活性化を図るとともに、このイベントを通じて健康、体力増進と参加者相互の融和に寄与することを目的として開催する。		
財源内訳	国庫支出金		1,293,000 円				
	県支出金		円				
	地方債	100%	400,000 円				
	その他		893,000 円				
	一般財源		0 円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

事業主体：ピクニックラン桜江実行委員会

開催日：平成25年7月14日（日）

種目	マラソン	水の国～風の国	(基本的に走る方のみ)	2.1 km
	マラソン	桜江小学校～風の国	(基本的に走る方のみ)	1.0 km
	ウォーキング	桜江小学校～風の国	(基本的に歩く方のみ)	1.0 km

マラソン及びウォーキングの10キロコースは、昨年度とはコースを変更して従来のコースで行った。

独立行政法人日本スポーツ振興センター「スポーツ振興くじ助成金交付事業」の助成を受けて事業を開催した。

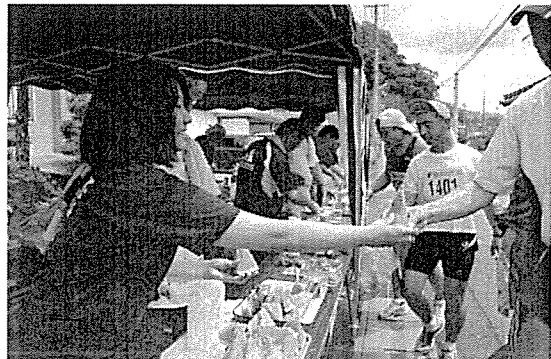
#### ○事業の実績

当日参加総数 723人 (マラソン2.1キロ 439人、マラソン1.0キロ 183人、ウォーキング1.0キロ 101人)

#### ○事業の効果

全国各地から総数723人の参加があり、その内、県外者が約6割強を占めるなど、このイベントを通じて地元ボランティア及び参加者相互の交流が図られ、また江津市の豊かな自然の魅力をアピールできた。

#### 第17回写真



事業名		定住促進空き家活用事業			予算科目	会計	01	一般会計	
事業開始年度		平成 20 年度	事業進捗率	%		款	02	総務費	
担当部署		総務	部	政策企画		項	01	総務管理費	
						目	08	企画費	
事業費		4,540,653 円			事業の目的・目標	空き家を活用したU・Iターン向け住宅の整備を行い、若年世帯を確保することにより集落の機能の維持・活性化を図る。			
財源内訳	国庫支出金								円
	県支出金								円
	地方債	100%	2,100,000 円						
	その他	1,877,794 円							
	一般財源	562,859 円							
<b>施策の内容、実績、及び効果</b> ○事業の内容 <p>空き家となっている住宅を借り上げ、修繕工事を行い、U・Iターン希望者向け住宅として整備及び管理する。また、U・Iターン者の受け入れを行う空き家の修繕事業費に対し、2分の1（最大50万円）の補助金を交付し、空き家活用による定住促進を行う。</p> <p>●総事業費 : 4,540,653 円  内訳) 平成25年度定住促進集落活性化住宅管理事業 : 1,304,028 円（8戸の住宅を管理）  U・Iターン空き家改修費補助金 : 2,137,425 円（申請件数：5件）</p> ○事業の実績 1. 定住促進集落活性化住宅 ●平成25年度末時点で8件の住宅を管理。 ●平成25年度末時点で、4件に10人が入居。 ●平成25年度に3世帯（11人）が転出し、1世帯（2名）が入居。 2. U・Iターン空き家修繕費補助金 ●平成25年度の申請件数は5件。 ●平成25年度補助金対象空き家への入居者数は合計14人。 ○事業の効果 ●定住促進集落活性化住宅は、入居要件として自治会活動の参加などを求めており、移住者が自治会活動等へ積極的に参画し、地域の活性化に寄与している。 ●空き家修繕費補助金制度は、所有者による空き家活用を促進し、U・Iターン者の受け入れが進んでいる。									



事業名		コミュニティビジネス創出支援事業		予算科目	会計	01	一般会計	
事業開始年度		平成 22 年度	事業進捗率		%	款	02	総務費
担当部署		総務 部	政策企画		課	項	01	総務管理費
事業費		4,961,220 円			事業の目的・目標	目	08	企画費
財源内訳	国庫支出金	円		小規模でも地域の課題や資源に根ざしたビジネスを創業する仕組みを整えるとともに、起業スキルを持つ人材を受け入れる環境をつくる。 目標：創業人材の受入れ1名				
	県支出金	2,480,610 円						
	地方債	100%	1,200,000 円					
	その他	1,280,610 円						
	一般財源	円						

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

過疎化・高齢化が進む本市において、ソーシャルビジネス等の起業を促進し、多様な雇用を創出する仕組みづくりを行うため、ビジネスプランコンテストを開催し、起業しようという熱意のある人材に対し、本市で起業する機会を提供するとともに、プラン実現に向けた創業支援を行う。

#### ○事業の実績

##### ●ビジネスプランコンテストの開催

県内外から11件の提案が寄せられ、一次審査、二次審査（公開プレゼンテーション）を経て、1件の大賞受賞者を選出した。また、これまでのコンテスト受賞者が一堂に会し、現在の活動状況と今後の展望について語る場を設定し、来場者に対する創業機運の醸成を図った。

##### ●起業勉強会、異業種交流会の開催

受賞者の活動状況や他地域の取り組みを共有し、アドバイスを受ける勉強会を月1回程度、職種や肩書を越えた仲間作りの機会を隔月で特定非営利活動法人てごねっと石見が開催した。知識の習得だけでなく、実践者同士のネットワークを構築する場として機能していた。

#### ○事業の効果

特定非営利活動法人てごねっと石見へ業務委託し、江津商工会議所、桜江町商工会、社団法人江津青年会議所、日本海信用金庫と連携して実施することで、応募者に対して専門的分野の相談やきめ細かい情報提供を行うことができ、より精度の高いプランが集まった。

大賞受賞者は、コンテストを機に公園の管理業務を受託している。また、出場者のうち1名はイベントの企画運営をするなど、各自プランの実践に向けて活動を始めている。



①出場者が企画運営を行ったイベント「いわみパン祭り」②コンテスト最終審査会の様子 ③コンテスト大賞受賞者 和田智之氏 ④起業勉強会の様子



事業名	自治機能再生ブレーン等派遣・配置事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成 22 年度	事業進捗率	%		項	01	総務管理費
担当部署	総務 部	政策企画 課			目	08	企画費
事業費		15,486,779 円		事業の目的・目標	地域へブレーンや支援人材を派遣・配置し、地域コミュニティを活性化する。 目標： 平成29年度までに22地区で地域コミュニティ組織を設立		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債	100%	12,400,000 円				
	その他		2,935,225 円				
	一般財源		151,554 円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

地域コミュニティ組織の形成を目指す地域、若しくは地域コミュニティ活動を活発に展開しようとする地域へ「自治機能再生ブレーン」と「地域支援員」を配置し、その活動をサポートする。

地域コミュニティ活性化事業交付金の活用とセットで運用することを原則とし、地域自治機能の再生・活性化を図ることを目的とする。

#### ○事業の実績

##### ●江津市自治機能再生ブレーンの活動状況

- ・作野広和准教授(島根大学)  
：松平地区の地域づくり計画作成支援、組織づくりへの支援
- ・諸岡了介准教授(島根大学)  
：黒松地区の活動支援
- ・川北秀人氏(IIHOE)  
：地域実践者向け研修会及び職員研修会の講師

##### ●地域支援員配置状況

- ・配置地区 黒松、都治、松平、嘉久志、跡市、敬川、有福温泉
- ・配置人数 各地区に1名ずつ合計7名を配置

#### ○事業の効果

##### ●自治機能再生ブレーン派遣にかかる効果

地域コミュニティの組織づくりや活動について助言・指導を受けることにより、地域活動や組織形成が促進された。

##### ●地域支援員配置にかかる効果

地域コミュニティの組織形成や活動において、会議の招集や資料作成、交付金や補助金事務、各団体等との調整、市と連絡調整などを担当することにより、各地区の活動が促進された。

##### ●地域コミュニティの推進にかかる事業効果

新たに3地区(嘉久志地区、敬川地区、有福温泉地区)に地域コミュニティ組織が設立された。地域コミュニティ事業に対する市民の意識が醸成され、地域コミュニティ組織の準備会の設置や設置の検討が促進された。

事業名	江の川下流域活性化事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成 24 年度	事業進捗率	%		項	01	総務管理費
担当部署	総務 部	政策企画課	課		目	08	企画費
事業費				1,500,000 円	事業の目的・目標	江の川下流域の団体が連携、協調し、この下流域の素晴らしい資源、特性等を活かした広域的な取り組みを展開することで、下流域の活性化を図る。	
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他	1,500,000 円					
	一般財源		円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

江の川の下流域に隣接する江津市、川本町、美郷町、邑南町からなる構成自治体と中国電力株式会社をもって「江の川下流域活性化協議会」を設置し、江の川下流域の自然環境、産業、歴史・文化等の振興に資する事業を展開する。

●江の川下流域活性化協議会負担金 1,500千円（江津市負担分：構成市町村の負担割合8分の2）

#### ・具体的な取組事業

##### 1. 地域開発事業

###### (1) 植栽事業

①住民組織が実施する植栽事業で植栽する桜、もみじ、その他の苗木や添え木、堆肥、肥料、結束ひもなどの資材経費に対し1団体当り100,000円を上限に補助する。

②4市町の公共施設に植栽する桜、もみじ、その他の苗木や添え木、堆肥、肥料、結束ひもなどの資材経費に対し1市町当たり200,000円を上限に補助する。

###### (2) 竹藪の伐採支援事業

①竹藪の伐採事業支援…市町が実施する江の川沿いの「竹藪伐採事業」に対する支援。

##### 2. 地域活性化事業

(1) 三彦市出展者協議会…安定経営と市民に支持される地産地消を強力に推進するため、品質向上の技術指導や加工品表示等の研修を行う。また先進事例の視察により意識の高揚、出荷のノウハウの取得を図る。

(2) 三江線活性化協議会…三江線は、通学、通院、通勤のための手段として無くてはならないもので、三江線改良利用促進期成同盟会、三江線活性化協議会が実施する利用促進に向けた事業について助成し、三江線の利用促進と江の川流域の地域振興を図る。

(3) 邑智郡農林業振興協議会…邑智郡全体を対象とした農産物等の広域産地化に取り組むなど各町、農業協同組合、その他関係機関が一体となった農林業振興を積極的に進めている。主要出荷先である広島県において郡内特産物のPRを行い、生産振興はもとより、地域の活性化に資することを目的とし、情報発信や郡内の産直市活動を活かした圏域外からの多様な消費者の獲得を図る。

###### (4) その他地域活性化事業

①江の川下流域関連イベントの支援…江の川流域の「川に関するイベント」開催に対する支援。

②江の川学講座、イベントの開催…流域の住民や子ども達に対する啓発を目的として、講師を招き「江の川学」として、環境学習、体験学習の講座開設やイベントの開催。

③職員研修の開催

#### ○事業の実績

事業名	助成金額	事業主体	事業内容
邑智郡物産品PR対策事業	300,000円	邑智郡農林業振興協議会	島根ふるさとフェアでのPR 悠邑ふるさと市
三江線利用促進事業	860,000円	三江線改良利用促進期成同盟会、三江線活性化協議会	三江線の利用促進と江の川流域の地域振興を図る。
江の川下流域活性化構想企画調査事業	1,470,000円	江の川下流域活性化協議会	江の川下流域における活性化のための調査・分析及び活性化計画の策定

#### ○事業の効果

各種団体へ助成することで、江の川流域の地域振興が図られた。

また、活性化構想を策定するため、アンケート調査等を実施し、今後の進め方について意見集約が図られた。

事業名	高野山風力発電所周辺地域活性化支援補助事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成 24 年度	事業進捗率	21.6 %		項	01	総務管理費
担当部署	総務 部	政策企画 課			目	08	企画費
事業費				3,095,000 円	事業の目的・目標	江津高野山風力発電所から概ね1kmの範囲内の連合自治会が、地域の活性化を目指して実施する事業に対し、予算の範囲内で補助金を交付することにより、対象地域の活性化を図ることを目的とする。	
財源内訳	国庫支出金			円			
	県支出金			3,095,000 円			
	地方債			円			
	その他			円			
	一般財源			円			

### 施策の内容、実績、及び効果

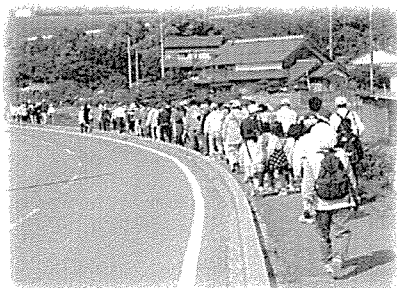
#### ○事業の内容及び実績

該当地域の連合自治会において実施される防犯灯の設置・維持や、地域の活性化に寄与する事業に対して補助金を交付する。

補助対象連合自治会	補助額	備 考
二宮連合自治会	1,920,000円	・防犯灯設置等事業 ・その他活性化事業 (集会所等周辺整備事業)
有福温泉町連合自治会	155,000円	・防犯灯設置等事業
敬川連合自治会	250,000円	・防犯灯設置等事業 ・その他活性化事業 (街路灯整備)
跡市連合自治会	770,000円	・防犯灯設置等事業 ・その他活性化事業 (伝統文化保存)
合 計	3,095,000円	

#### ○事業の効果

- 「防犯灯設置等事業」により防犯灯を設置、改修することで、地域の安全安心を図ることができた。
- 当補助金をそれぞれの地域資源に活かすことで、芸能文化の保全や地域振興に寄与した。  
【例：二宮（君寺等周辺整備、イベント開催）、跡市（花田植え）】



二宮地区：ウォーキング大会



跡市地区：花田植え

事業名	地域拠点施設整備事業（繰越）			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成 24 年度	事業進捗率	100 %		項	01	総務管理費
担当部署	総務 部	政策企画	課		目	08	企画費
事業費				事業の目的・目標	地域コミュニティ活動の活性化を図るため、意欲ある地域コミュニティ組織から企画提案を求め、国庫事業を導入して推進した。		
財源内訳	国庫支出金		11,999,400 円				
	県支出金		6,000,000 円				
	地方債		円				
	その他		5,999,400 円				
	一般財源		円				

**施策の内容、実績、及び効果**

○事業の内容

総務省の過疎地域等自立活性化推進交付金事業の採択により実施。

「地域コミュニティ活性化事業」では、都治地区の全世帯の住民が梅苗木の植栽活動を行うことを契機に、観て良し（梅の花が咲き誇り、耕作放棄地を減らす景観づくり）、食して良し（都治ならではの梅の加工品づくり）、暮らして良し（伝統芸能等の伝承を通じて子どもから高齢者までの交流の場づくり）の「一家一花でつなぐ～梅の降る里づくり事業～」に取り組んだ。そのソフト事業に併せて、都治地域コミュニティ交流センターのステージを増改築した。

○事業の実績

- 地域コミュニティ交流センターに舞台ステージを増設したことで、神楽の発表会が行われるなど子どもから高齢者まで住民が交流する機会が増加した。【発表会の参加：発表者22人】
- また、この事業と一体となり以下の事業を「地域コミュニティ活性化事業」にて実施した。
  - ・地域住民を挙げて地区内の各所に梅の苗木1,700本の植栽活動を展開。ふるさとの景観づくりに対する意識醸成や地域住民の結束を強める活動となった。【梅の植栽活動への住民参加人数：572人、梅植栽箇所：448箇所】
  - ・地域の子どもたちによる梅の記念植樹は、地域の子どもたちのネームプレートを梅の苗木に付けるなど、故郷への愛着を高める工夫がされた。【子ども記念植樹へ参加した子どもの人数：71人】
  - ・耕作放棄地を活用して梅園を造るなど、遊休化し、荒廃していた土地が有効に活用された。【活用した耕作放棄地等の面積：約34,200㎡】
  - ・地域の子どもたちへ石見神楽や銭太鼓などの伝統芸能の継承する活動を開始した。【子どもの参加者数：毎週土曜日に10人参加】

○事業の効果

平成24年4月に発足した都治地区コミュニティ協議会は、まちづくりの柱となる活動を検討してきたが、本事業を通じて地域の将来像やまちづくりの柱となる事業が確定し、組織体制が強固になった。そのため平成25年10月に策定した「都治地区 地域づくり計画」では、本事業の取り組みをまちづくりの柱と位置づけ、今後10年間、計画的かつ継続的に取り組むことになった。

**地区挙げ「梅の降る里」に**

【山陰中央】 25.6.26



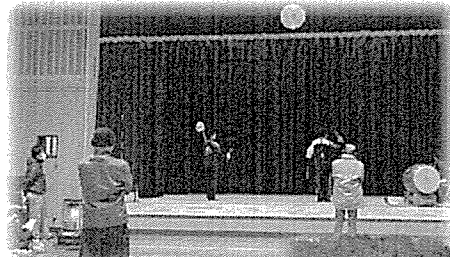
試行的に作った約畝と梅平し器前に、梅で生かしたまちづくりについて話し合う村民たち

**加工品 一体感醸成図る**

都治地区は、梅の加工品づくりを通じて、地域住民の一体感を醸成し、ふるさとの景観づくりや、伝統芸能の継承など、まちづくりの柱となる事業が確定し、組織体制が強固になった。そのため平成25年10月に策定した「都治地区 地域づくり計画」では、本事業の取り組みをまちづくりの柱と位置づけ、今後10年間、計画的かつ継続的に取り組むことになった。

**江津・都治 今秋、1700本を植栽**

都治地区コミュニティ協議会（会長 佐藤 隆）は、梅の植栽活動を通じて、地域住民の一体感を醸成し、ふるさとの景観づくりや、伝統芸能の継承など、まちづくりの柱となる事業が確定し、組織体制が強固になった。そのため平成25年10月に策定した「都治地区 地域づくり計画」では、本事業の取り組みをまちづくりの柱と位置づけ、今後10年間、計画的かつ継続的に取り組むことになった。



完成したステージで子ども神楽の練習



小学校前の耕作放棄地には子どもの記念植樹が...

事業名	地方バス路線維持対策事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
					項	01	総務管理費
					目	09	地域開発費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率	%			
担当部署	産業振興	部	商工観光	課			
事業費 (A)				23,097,000 円	事業の目的・目標	公共交通機関である路線バスは、過疎化と高齢化の進行やモータリゼーションの進展などにより、利用者は年々減少している。 一方で日常生活を営む上で、住民にとってはなくてはならない路線であることからバス事業者に対して運行補助を行うことによって住民の生活交通を確保する。	
財源内訳	国庫支出金			円			
	県支出金		206,000	円			
	地方債			円			
	その他			円			
	一般財源		22,891,000	円			

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

島根県生活交通確保対策協議会の協議結果に基づき、島根県知事が選定した生活交通路線を運行する事業者に対して、補助対象経常経費と経常収益との差額のうち、国及び県の補助金を除いた残額を路線の延長によって沿線自治体と按分した額を補助金として交付する。

- ・バス運行事業者 石見交通株式会社
- ・補助対象期間 平成24年10月1日～平成25年9月30日

#### ○事業の実績

運行系統	運行キロ	平均回数	乗車密度	補助金(千円)
周布～有福温泉～江津駅前	42.0	6.8	2.8	4,519
周布～宇野～有福温泉	26.3	1.0	1.6	76
江津駅前～大橋東詰～嘉戸塩田口	2.5	1.9	0.4	627
済生会病院～江津駅前～嘉戸塩田口	3.6	1.9	0.3	930
周布～西波子～温泉津温泉口	50.3	1.0	2.9	1,032
周布～西波子～済生会病院～江津駅前	31.2	18.5	3.8	3,521
周布～西波子～沖田クリニック～江津駅前	32.6	2.0	3.5	
済生会病院～岩貝～川戸駅	16.8	2.0	0.0	4,397
済生会病院～波積～大家	24.4	0.8	0.2	1,034
済生会病院～波積～大家回転場	23.8	2.8	1.5	2,363
済生会病院～浅利駅口～波積	13.2	2.0	0.4	3,821
大田市立病院前～仁万駅前～済生会病院	47.5	4.0	3.8	777
合計				23,097

#### ○事業の効果

石見交通により、安定的に輸送サービスが提供された。

事業名	生活交通バス事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	02	総務費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	総務管理費
担当部署	産業振興	部	商工観光		課	目	09	地域開発費
事業費 (A)				12,630,961 円	事業の目的・目標	地域住民の交通手段を確保し、公共の福祉に資するため、江津市生活路線廃止代替バス及び江津市生活バスを運行する。		
財源内訳	国庫支出金			402,000 円				
	県支出金			円				
	地方債			円				
	その他			763,610 円				
	一般財源			11,465,351 円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

- 江津市生活路線廃止代替バス  
井沢町井沢峠から跡市町跡市停留所までの間において、生活路線廃止代替バスを運行する。  
・運行状況 月～土 2往復/日
- 江津市生活バス（桜江地域）  
桜江町において各集落から応儀医院、JR川戸駅、公共施設、金融機関及び商店などへアクセスする生活バスを運行する。  
・運行状況 (月・木) 坂本・三田地・今田方面 各1往復/日、市山線 2往復/日  
(火・金) 長戸路・谷・日浦方面 各1往復/日、市山線 3往復/日
- 江津市生活バス（デマンド）  
川平町、松川町上津井地区、波積町南、有福温泉町本明、千田町において、JRの駅や石見交通のバス停を結節点としたデマンド型バスを運行する。  
・運行状況 川平線 (火・金) 2往復/日  
松川波積線 (月・木) 4往復/日 (火・金) 1往復※上津井-川平駅間  
有福千田線 (火・木) 1往復/日
- 江津市生活バス（江中スクールバス混乗）  
JR川戸駅から済生会病院まで、江津中学校スクールバスを利用した混乗バスを運行する。  
・運行状況 月～金 1回/日（片方向のみ）

#### ○事業の実績

運行区間	運行日数	乗車人数	1日あたり乗車人数	使用料収入(円)
江津市生活路線廃止代替バス				
井沢峠－跡市バス停	296	796	2.69	154,540
江津市生活バス（桜江地域）				
(坂本線) 坂本口－川戸駅前	95	341	3.59	61,500
(三田地線) 三田地上－川戸駅前		158	1.66	30,500
(今田線) 川戸駅前－(今田経由)－応儀医院前		35	0.37	6,900
(長戸路線) 長戸路集会所－川戸駅	100	77	0.77	15,400
(谷線) 上谷－川戸駅前		143	1.43	28,600
(日浦線) 日浦－川戸駅前		26	0.26	5,200
(市山線) 川戸駅前－応儀医院前	195	453	2.32	84,600
江津市生活バス（デマンド）				
(川平線) 後谷－川平駅	100	451	5.24	90,200
(松川波積線)	195	633	5.97	126,600
波積町本郷～川平駅	95	607	6.53	121,400
上津井－川平駅	100	26	2.00	5,200
(有福千田線) 本明－跡市バス停	102	27	1.69	2,800
江津市生活バス（江中スクールバス混乗）				
川戸駅前－済生会病院	247	273	1.11	156,770

#### ○事業の効果

生活交通バスの運行により、市民の交通手段を確保することができた。

事業名	地籍調査事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成 10 年度	事業進捗率	51 %		項	01	総務管理費
担当部署	総務 部	管財 課			目	15	地籍調査事業費
事業費 (A)		29,635,589 円		事業の目的・目標	国土調査法に基づき一筆ごとの土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地積の測定を行い、地籍図と地籍簿を整備することにより、都市計画などの各種施策の策定あるいは公共事業のための用地買収など、土地に関する行政や市民生活と密接に係る基礎資料を作成する。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金	3/4	22,065,000 円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		7,570,589 円				

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

一筆ごとの土地について、所在、地番、地目及び境界の調査と登記簿に記載された所有者の表示事項の確認と境界の測量及び面積の測定を行い、調査の結果を地図（地籍図）及び簿冊（地籍簿）に作成する。成果は県知事の認証を受けた後、法務局において登記される。

#### ○事業の実績（計画面積）

作業工程／調査地区	都治1区	江津2区	嘉久志2区	波子3区	波子2区
地籍図根三角測量 (C工程)	—	—	—	—	—
地籍図根多角測量 (D工程)	0.48km <sup>2</sup>	0.80km <sup>2</sup>	—	—	—
一筆地調査 (E工程)	—	—	0.16km <sup>2</sup>	0.08km <sup>2</sup>	0.05km <sup>2</sup>
地籍細部測量 (F I工程)	0.48km <sup>2</sup>	0.80km <sup>2</sup>	—	—	—
一筆地測量 (F II-1工程)	0.48km <sup>2</sup>	0.80km <sup>2</sup>	—	—	—
地籍図原図作成 (F II-2工程)	0.48km <sup>2</sup>	0.80km <sup>2</sup>	—	—	—
地積測定 (G工程)	0.48km <sup>2</sup>	0.80km <sup>2</sup>	—	—	—
地籍簿作成 (H工程)	0.48km <sup>2</sup>	—	—	—	—

#### ●平成25年度末現在進捗状況

- ・江津市全体面積 268.51km<sup>2</sup>
- ・調査対象面積 255.85km<sup>2</sup>

区 分	調査実施面積	進捗率
桜江地域（平成9年度 全区域完了）	102.96km <sup>2</sup>	—
江津地域（完了区域）	24.32km <sup>2</sup>	—
川平町平田1～8区、波子町波子1～3区、嘉久志町嘉久志1～2区、川平町南川上1～5区、浅利町浅利1区、松川町上河戸1区、江津町江津1～2区、後地町後地1～5区、黒松町黒松1区、都治町都治1区		
ミ二国調（波積町、波子町、敬川町、有福温泉町の一部）	2.19km <sup>2</sup>	
19条5項関係（圃場整備、区画整理等で指定を受けたもの）	1.77km <sup>2</sup>	—
計	131.24km <sup>2</sup>	51.30%

※調査実施面積は、換算面積（調査中）を含む。

#### ○事業の効果

地籍調査の成果は、登記に反映されるため次のような効果が得られる。

- (1) 土地に関するトラブルの防止。
- (2) 公共事業の円滑化、用地取得に伴う登記事務処理の省力化。
- (3) 課税の公平化。
- (4) 災害時等での境界の復元。
- (5) 各種土地施策の基礎資料としての利用。



事業名	人権啓発活動事業		予算科目	会計	01	一般会計	
				款	02	総務費	
事業開始年度	平成 25 年度	事業進捗率		%	項	01	総務管理費
担当部署	市民 部	人権啓発センター		課	目	16	人権啓発費
事業費			1,393,414 円	事業の目的・目標	人権尊重思想の普及高揚を図り、人権問題に対する正しい認識を広めることにより、基本的人権の擁護に資することを目的に人権啓発活動を行う。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		530,000 円				
	地方債		円				
	その他		1,500 円				
	一般財源		861,914 円				

施策の内容、実績、及び効果

事業	概要	決算額
人権の花運動の推進	花を育てることによって、児童をはじめとした人権感覚を高める。 参加校 郷田小学校、渡津小学校、江津東小学校、跡市小学校、津宮小学校、高角小学校及び桜江小学校（以上7校） ① 花の種ほか 105,000 ② 花壇看板 31,752 ③ 啓発グッズ 93,248	230,000
人権問題講演会の開催	テーマ： 人権全般 開催日 12月9日（月） 会場 江津市総合市民センター 演題 「新ちゃんのお笑い人権高座 ～今から、ここから、自分から～ 講師 露の新治さん〔落語家〕 参加者 463名 講師謝金（旅費込）・会場借上料・回覧チラシ	300,000
当該事業関連	ポスター・レジュメ・演台花・アンケートなど	128,667
その他事務・事業費		81,747
全日本同和会島根県連合会負担金		67,000
浜田人権擁護委員協議会負担金		206,000
全日本同和会江津支部補助金		380,000
合計		1,393,414

講演会では著名な講師や参加意欲をそその内容に依存する点が多い。心理的差別の解消や人権感覚の醸成に向け、継続的に活動を展開していくことが肝要である。平成25年度は、人権の花事業へ1校不参加であったことは残念であったが、講演会では多数の参加者を呼び込むことができ、アンケートにおいても一定の評価を得ることができた。

事業名	男女共同参画事業		予算科目	会計	01	一般会計	
				款	02	総務費	
事業開始年度	平成 25 年度	事業進捗率		%	項	01	総務管理費
担当部署	市民 部	人権啓発センター			目	16	人権啓発費
事業費 (A)			658,561 円		事業の目的・目標	男女共同参画社会の形成に向け、市民への啓発活動及び計画に基づく施策の推進を図る。	
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		658,561 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

概 要	決算額													
<p>●男女共同参画講演会 講師：安藤 哲也さん 演題：「地域活動がおもしろい！～仕事と生活のベストバランス～」 開催費（参加者数：100人）</p> <table border="0"> <tr> <td>謝礼金</td> <td>172,500</td> <td>印刷製本費</td> <td>47,000</td> <td rowspan="3">281,877</td> </tr> <tr> <td>旅 費</td> <td>5,860</td> <td>通信運搬費</td> <td>2,640</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>38,967</td> <td>借上料</td> <td>14,910</td> </tr> </table>	謝礼金	172,500	印刷製本費	47,000	281,877	旅 費	5,860	通信運搬費	2,640	消耗品費	38,967	借上料	14,910	
謝礼金	172,500	印刷製本費	47,000	281,877										
旅 費	5,860	通信運搬費	2,640											
消耗品費	38,967	借上料	14,910											
<p>●男の生活応援塾 衣・育・食について暮らしに役立つ男女共同参画を講義と実習をとおして、生活に必要な技術を身に付けられるよう開催。 第1回：10月4日（金）会場：桜江コミセン 青年研修室 「これで完璧！衣類の整理術！」 第2回：11月22日（金）会場：桜江コミセン 青年研修室 「あなたも子どもや孫のヒーローになれる！」 第3回：2月28日（金）会場：桜江保健センター 「簡単！できる！料理に挑戦！」 開催費（参加者数：73人）</p> <table border="0"> <tr> <td>謝礼金</td> <td>97,000</td> <td>消耗品費</td> <td>2,448</td> <td rowspan="2">281,684</td> </tr> <tr> <td>旅 費</td> <td>1,680</td> <td>通信運搬費</td> <td>8,000</td> </tr> </table>	謝礼金	97,000	消耗品費	2,448	281,684	旅 費	1,680	通信運搬費	8,000					
謝礼金	97,000	消耗品費	2,448	281,684										
旅 費	1,680	通信運搬費	8,000											
<p>●男女共同参画研修 あすてらすフェスティバル、男女共同参画研修等に参加し男女共同参画意識の向上を図る。</p> <table border="0"> <tr> <td>謝礼金</td> <td>20,000</td> <td>印刷製本費</td> <td>2,646</td> <td rowspan="3">95,000</td> </tr> <tr> <td>旅 費</td> <td>113,020</td> <td>借上料</td> <td>13,310</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>16,580</td> <td>諸会議負担金</td> <td>7,000</td> </tr> </table>	謝礼金	20,000	印刷製本費	2,646	95,000	旅 費	113,020	借上料	13,310	消耗品費	16,580	諸会議負担金	7,000	
謝礼金	20,000	印刷製本費	2,646	95,000										
旅 費	113,020	借上料	13,310											
消耗品費	16,580	諸会議負担金	7,000											
●江津市女性ネットワーク補助金	95,000													
合 計	658,561													

○事業の効果

男女共同参画講演会においては、男性の参加者も増え、男女共同参画社会への関心の高まりが見える。また、男の生活応援塾は、参加者から「これからの生活に役立つ講座である。」と好評であった。

事業名	広域隣保活動事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成 25 年度	事業進捗率	%		項	01	総務管理費
担当部署	市民 部	人権啓発センター	課		目	16	人権啓発費
事業費		480,000 円		事業の目的・目標	波来浜ふれあい集会所を拠点に、地域住民と融合した隣保活動事業を展開し、社会的、経済的、文化的改善向上を図るとともに、人権・同和問題の速やかな解決に資する。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金	3/4	360,000 円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		120,000 円				

施策の内容、実績、及び効果

	概要	決算額
社会調査及び研究事業	人権相談員等養成研修	750
相談事業	地域生活相談員を配置し、住民の生活上の相談に応じ、必要な助言及び指導を行う。 関係機関との連携を図りながら、もって福祉の増進に寄与する。	198,000
地域交流事業	文化教養講座（3教室）常設に、特別講座（絵手紙）し、地域交流を図る。 (円)	281,250
	講座名：実施回数：延べ参加者数：事業費	
	健康教室：10回 88人 45,000	
	竹細工教室：12回 82人 115,000	
	生花教室：11回 123人 58,000	
	絵手紙教室：2回 11人 10,000	
計	35回 304人 228,000	
	その他（旅費・需用費・役務費） 53,250	
合計		480,000

1. 相談事業における相談件数28件（世帯区分別相談件数では、65歳以上世帯から19件、障がい者がいる世帯から3件、その他の世帯から6件）で、前年度より件数が減っているのは相談者が病気などの理由で減少したことによることが大きく、問題がなくなったり解決したことによるものではない。
2. 地域交流事業では、地元の産業でもある竹細工は人気は高いが、指導者の高齢化と後継者がいないため、新たな参加者の受入ができず、また特定化している。講師との交流はあっても、内外の交流が図れない。（技術の習得のみが目的ではないので、今後の検討課題である。）
3. マンネリ化が懸念されるなか、生花教室の参加者等から、自発的な希望や提案でこのたび試験的に組み込んだ「絵手紙教室」も好評のため、今後、少ない回数であっても実施が必要。

事業名		私立高等学校振興事業		予算科目	会計	01	一般会計	
事業開始年度		平成 20 年度	事業進捗率		%	款	02	総務費
担当部署		総務 部	総務 課			項	01	総務管理費
						目	17	諸費
事業費 (A)				44,731,000 円	事業の目的・目標	少子化に伴う生徒数の減少により、経営状況が悪化している学校法人江の川学園に対し、引き続き支援することにより、同学園の教育、財務の健全性を高め、もって、本市財務の健全性と定住対策推進に資する。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金			円				
	地方債			円				
	その他			円				
	一般財源			44,731,000 円				
<p><b>施策の内容、実績、及び効果</b></p> <p>○事業の内容、実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●私立高等学支援特別対策補助金 44,000,000円</li> <li>●私立高等学校振興費補助金（女子寮の改修） 731,000円</li> </ul> <p>○事業の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●進学校としてのブランド強化のため、能力のある教員を採用することによる智翠館特別コース等の教育環境の充実や、男女ラグビー部・吹奏楽部等の部活動施設整備、女子寮の改修による住環境の改善等を行ったことにより、入学者数は、平成22年度149人、平成23年度171人、平成24年度177人と増加、平成25年度は159人に若干減少したものの、学校法人江の川学園の経営状況は改善しつつある。</li> </ul>								

事業名	高校支援対策補助事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成 24 年度	事業進捗率	%		項	01	総務管理費
担当部署	総務 部	総務 課			目	17	諸費
事業費		4,388,683 円		事業の目的・目標	市内の県立高校の教育環境の向上、特色ある教育等への支援を図ることにより、両県立高校の教育力及び魅力を高め、入学者の増加を目指す。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債	100%	2,300,000 円				
	その他		円				
	一般財源		2,088,683 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●通学バス運行事業 2,388,683円

公共交通機関の運行のない夕方に県立高校の生徒の帰宅用に通学バス1便を運行する。

運行期間：平成25年4月から平成26年3月まで

運行時刻：公共交通機関の運行のない夕方の時間帯に1便

対象者： 帰宅する江津高校、江津工業高校の生徒

運行業務：スクールバスを使用し、スクールバスの運行業務を委託している会社に運行業務を委託する。

運行経路：①江津高校～江津工業高校～川戸駅～鹿賀

【江津東小のスクールバス29人乗りを使用】

【委託料】 1月150,000円×10月×1.05=1,575,000円

②川戸駅～市山～長谷

【桜江小のスクールバス15人乗りを使用】

【委託料】 1日3000円×200日×1.05=630,000円

【燃料費】通学バス運行事業の燃料費

183,683円

●高校支援対策補助事業 2,000,000円

市内の県立高等学校における特色ある教育及び教育力の向上に資する事業に対して、江津市県立高等学校支援対策事業費補助金を交付する。

補助金の交付先は、県立高等学校の振興及び支援を目的とする後援会等の団体。

(補助対象事業)

(1)基本図書充実のための事業

(2)学力・人間力向上のためのセミナー事業

(3)生徒、保護者等を対象とした教育フォーラム事業

(4)その他市長が特に必要と認める事業

○事業の実績

通学バス運行事業

江津高校6名、江津工業高校3名登録

登録者の乗車率…(鹿賀線)30%弱、(長谷線)70%

運行日に対する乗車率…(鹿賀線)75%、(長谷線)70%

高校支援対策補助事業

島根県立江津高等学校教育後援会

1,000,000円

島根県立江津工業高等学校教育支援委員会

1,000,000円

ホームページの改善、展示や公演による地域交流、セミナー・フォーラムの開催等の実施及び図書の購入が行われた。

○事業の効果

通学バスの利用は、人数割合は少ないが、固定の利用者があり、帰宅時の移動手段として必要とされている。

高校支援対策補助金は、1年目であり効果が表われるのは、もう少し先になるかと思われるが、補助金で行われる事業により高校活性化の先鞭がつけられた。

(入学者数)	H21	H22	H23	H24	H25
江津高校	101	85	95	72	72
江津工業高校	78	103	55	94	80